

# 道

2021・8・11

通信 No 1647



忘れな草

## ＜9月の練習開始に向けてのスケジュール＞

オリンピックは終わりましたがパラリンピックはこれから予定されています。人流が少しは減ったとはいえコロナ陽性者はうなぎ上りに増加中です。9月になってみないと状況がどのようになるか分かりませんが、現在の所は以下のような計画をしています。

- ・ 9月1日（水） 午後3時～5時 於 県民サポートセンター 709号  
拡大運営委員会（運営委員・企画選曲委員・チラシ検討委員）
- ・ 9月8日（水） 6時～8時00分 指揮者小坂先生・P二宮先生  
臨時総会が終了次第練習を開始します

月	日	曜日	場 所	備 考
9	1	水	拡大運営委員会	練習中止
	8	水	岩間ホール	臨時総会終了後練習開始 小坂・二宮
	15	水	吉野町プラザホール	清水・小坂
	22	水	吉野町プラザホール	小坂・二宮
	29	水	岩間ホール	清水・小坂

## 同行二人(どうぎょうににん)の旅 その②

お参りの作法を教え、リードしてくれた先達さんは、「お四国」という言葉をしきりに使っていました。

最初はなぜ四国に「お」をつけるのか、違和感に近い思いで聞いていましたが、その内だんだんと、四国とお四国の違いが判ってきました。つまり四国が地理的概念であるのに対し、お四国は遍路の為の空間なのです。道ですれ違う人も、接待してくれる(お遍路さんにお茶や蜜柑など供してくれる)人も、そして風景さえもが、暖かい異次元の空間になるようでした。それに溶け込んで、自分自身も素直さを取り戻していくような、ある人に言わせると「実は昔から、お四国のお遍路は、そういう生まれ変わりの旅だったのだ」とのことですが、正にそのことが実感できた旅でした。

時間に制約されずに、気の向くままのんびりお遍路さんが出来たら、どんなにか素晴らしいことでしょう。いつか再びそんな機会を持ちたい、ということは今つよく感じています。

[註] 同行二人(どうぎょうににん)

いつも弘法大師とともにあるということで、お遍路さんが身にまとう白衣や、笠、金剛杖などに必ずこの文字を入れます。

ここで特に印象に残ったお寺をいくつか取り上げてみましょう。

次につづく、、、、